

防火避難訓練（５月２３日）

本日中間考査終了後の３限目に、本年度第１回目の避難訓練を実施しました。今回は、火災を想定した「防火避難訓練」で、県立国際高校との共催でした。訓練火災発生のお知らせの後、グラウンドに両校生が避難し、人員の確認、学校長への報告を行いました。消防署による指導の下で代表生徒たちの消火訓練をし、最後に国際高校の森田教頭先生より全体講評を行っていただきました。

「天災は忘れた頃にやってくる」のではなく、今や「いつでもどこにでもやってくる」ことを自覚しないわけにはいきません。森田教頭先生の講評のとおり、想定を越えた災害の常態化を前提に、「常に想定外のことを想定」し、「自分事として」災害を捉え、自分の命を守るために「冷静かつ迅速な判断」をして早く安全な場所に逃げるのが大事だと再認識した時間でした。

